



日立一高ラグビー部OB会 会報

<https://ichiko-rugby-obc.com/>
 (フェイスブック「日立一高ラグビー部」も開設)

【4年に一度じゃない！一生に一度だ！！ - ONCE IN A LIFETIME -】

9月29日(日)熊谷ラグビー場(埼玉県)で開催された、ラグビーワールドカップ プールDの「ジョージア×ウルグアイ」の観戦ツアーを、OB会主催で実施しました。【試合結果：ジョージア 33-7 ウルグアイ】

参加者は総勢48人(高校部員18人、マネージャー4人、中学部員9人、保護者8人、引率の大和田徹先生(附属中顧問)、引率OBの橋恒弘・内村勝大、その他OB4人と子2人)、うち9人は現地合流、39人を乗せてバスは午前9時に日立一高を出発しました。



以下は、引率OBの橋さんのレポートです。(一部編集させていただきました。)

「朝の集合時点では、中学生・高校生とも遠足気分そのものでした。

帰りは多少交通渋滞もありましたが、行きはほぼ予定どおり、休憩の際には皆さんの協力もあり早めの出発。その点はさすがに日立一高生だなあと感じました。

会場は、シャトルバスの発着所から遠かった。…ただ、おもてなし隊?が所々にいて、ハイタッチで迎えてくれたりするので、徐々にテンションも上がっていったようです。

スタジアムに入ると、選手が近い!!最前列で目の合った選手に手を振ると、振り返ってくれるほどでした。

やはりワールドカップは、大学ラグビー、社会人ラグビーとは全く違う雰囲気でした。国を背負っているからかな?と感じました。

将来、またジャパンのジャージを着る後輩が出てくれたら最高ですね。

試合が始まると、OBたちは気候の暑さ、試合の熱さ、盛り上がりで喉が渇き、気が付けばコップが4~5個重なっていたようです。

試合中は身動きも取れず...目の前が中3の部員たちの席でしたが、所々歓声を上げており、会場内の雰囲気やテレビでは味わうことのできない臨場感・迫力など、何かを感じてくれたものと思います。

行きのバスの車中で、子どもたちには一つだけお願いしておきました。「迷惑かけない！」その中でも、行方不明にならないこと！、チケットをなくさないこと！…子どもたちに感謝、私はほぼ何もしないで済みました。反省点としては、集合・解散場所を日立駅にしておけば、もっと楽だったかなと。電車の時間まであと10分しかなく、バタバタの解散となりました。」

橘さん、引率・レポート作成とお世話になりました。引率の大和田先生、保護者（兼）で参加した内村さん、ありがとうございました。参加した保護者の皆さんも大変お疲れさまでした。

今回のツアー実施に当たっては、8月10日（土）の公式チケットサイトにおける先着順販売に、14人のOBがエントリーしていただき、午後6時から夜中の3時近くまでかけてチケット48枚を確保してくれました。（順番待ちの人数は少ない人でも4,103人待ち、多い人では124,308人待ちでした。）

また、国体期間中につき手配が困難な大型バスも、OBのコネクションで確保することができました。皆さんの御協力に、心から感謝申し上げます。

○ 28年ぶりの新人戦決勝進出！関東新人大会初出場！23年ぶりの関東大会出場！！

新人戦準優勝

平成31年1月6日（日）・13日（日）・20日（日）・27日（日）



前年度のメンバーから3年生9人が卒業し、やや戦力の低下が懸念された新チームでしたが、3年生が勉強に集中するためにグラウンドを離れた間、1・2年生が夏場に蓄えた経験値は他チームを凌駕していました。

更に、身長180cm以上の選手がFWに4人おりラインアウトを支配、ブロップの鈴木は110kgの体重を活かして重量感のある突進を繰り返すなど、セットプレーだけでなくルーズプレーでも他チームを圧倒。

FWの充実、BKも固いディフェンスとスピーディな走りで応え、新人戦の初戦から快進撃が続きました。

現役の活躍にOBもSNS等で大いに盛り上がり、決勝戦当日は、水戸ツインフィールドに関東近県からOBが大挙して応援に駆けつけました。

【2回戦】 114 - 7（前半38-7、後半76-0） vs. 水戸農業高校

この試合、前半15分までは7-7の同点でした。やはり新チームの第1戦、相当固くなっていたのでしょうか。固さがほぐれてからは、FW・BK一体となった攻撃でトライを量産しました。

【準々決勝】 36 - 0 (前半24-0、後半12-0) vs. 東洋大牛久高校

前後半を通して、90%近くを敵陣で戦う試合展開でしたが、相手のディフェンスも固く、大量得点にはつながりませんでした。21年ぶりのベスト4進出!!

【準決勝】 36 - 0 (前半14-0、後半22-0) vs. つくば秀英高校

この試合の勝因は、何と言っても鉄壁のディフェンス。つくば秀英の強力FWの突進を許さず、目立たないところでも一人ひとりが責任と役割を果たしていました。28年ぶりの決勝進出!!

【決勝】 0 - 104 (前半0-64、後半0-40) vs. 茗溪学園高校

フィールドの中盤では互角に渡り合いましたが、フェイズが重なると徐々にディフェンスが薄くなり失点する展開。しかしラインアウトモールで押し込むなど茗溪を慌てさせる場面もありました。スタンドは日立一高のOB・保護者でホーム状態、大声援の中、部員たちは精一杯頑張りました。

関東新人大会初出場 平成31年2月9日(土)

新人戦で準優勝した日立一高は、平成13年に創設された関東新人大会に初出場を果たしました。

また、同大会は各県新人戦の上位2チームにより開催されますが、茨城県の公立高校としても初出場となりました。

【試合結果】 0 - 125 (前半0-68、後半0-57) vs. 桐蔭学園高校(神奈川県1位)

桐蔭学園は、この年の花園で準優勝。関東新人大会→全国選抜大会では今回を含めて3年連続3回の優勝を誇る、春の時点では全国最強のチームですが、日立一高は後半何度もトライチャンスをつくるなど、会場を沸かせました。



↑ 新人戦優勝と関東新人大会初出場を記念して、OB会が応援用横断幕と小旗を作成しました。

関東大会県予選 令和元年5月5日(日)・12日(日)・18日(土)

新人戦優勝で勢いに乗る日立一高は、続く関東大会予選でも合同A(勝田・水城・緑岡)、つくば秀英を撃破し決勝進出、惜しくも茗溪学園には敗れましたが、23年ぶり29回目の関東大会出場を果たしました。

【準々決勝】 64 - 7 (前半22-7、後半42-0) vs. 合同A(勝田・水城・緑岡)

【準決勝】 15 - 6 (前半5-0、後半10-5) vs. つくば秀英高校

【決勝】 0 - 96 (前半0-62、後半0-34) vs. 茗溪学園高校



関東大会出場 令和元年6月8日(土)・9日(日)

23年ぶりの関東大会出場は、5年連続5回目となる附属中ラグビー部とのアベック出場となりました。

- 【高校】 1日目 0 - 92 (前半 0-38、後半 0-54) vs. 東京高校 (東京都)
 2日目 14 - 33 (前半 14-14、後半 0-19) vs. 専大松戸高校 (千葉県)
 少々ほろ苦い結果に終わりましたが、2日目の専大松戸戦では初日の大敗から気持ちを切り替えて奮戦し、精神的な成長を感じさせました。



- 【中学】 1日目 33 - 12 (前半 21-0、後半 12-12) vs. 千葉日大第一中学校 (千葉県)
 2日目 26 - 17 (前半 19-12、後半 7-5) vs. 慶應義塾中学校 (神奈川県)
 1日目の千葉日大第一戦は、5回目の出場にして関東大会初勝利となりました。それだけでなく2日目はその勢いで慶應義塾中 (東京都7位) を破る快挙を成し遂げ、Dブロック優勝を飾りました。



全国7人制大会県予選 令和元年6月15日(土)・16日(日)

- 【予選リーグ】 19-5 vs. 勝田工業高校 / 39-0 vs. 土浦第一高校
 【決勝トーナメント】 1回戦 19-12 vs. 東洋大牛久高校
 準決勝 36-0 vs. 茗溪学園高校

1日目は雨、2日目は猛暑の中を開催され、決勝進出こそ逃しましたが、茗溪学園との36点差は茗溪学園の対戦チームの中では最少得点差であり、面目と存在感を示しました。

【報告】「令和元年度関東大会出場緊急カンパ」の結果について

令和元年6月8日(土)・9日(日)に開催された高校・中学の関東ラグビー大会に日立一高がダブル出場(高校は23年ぶり29回目、中学は5年連続5回目)を果たしたことから、5月27日(月)～6月7日(金)の約2週間に亘り、OB会ホームページやSNS等により「緊急カンパ」を募ったところ、45人の方から計283,000円の御協力をいただくことができました。

この浄財は、高校・中学ラグビー部への激励金(各50,000円)、ウォームアップTシャツ作成補助(100,000円)、父母会を通しての現地での差し入れ等々に充てさせていただきました。

御協力ありがとうございました。

平成30年度全国大会茨城県予選

平成30年10月21日(日)・28日(日)

【2回戦】 83 - 0 (前半52 - 0、後半31 - 0) vs. 合同C (下館工、守谷、三和)

【準々決勝】 12 - 42 (前半 5 - 28、後半 7 - 14) vs. 清真学園

大会前、受験勉強に集中していた3年生が続々と練習に復帰、高校最後の大会にフルメンバーでエントリーすることができました。

第1戦(2回戦)は合同Cに快勝し、準々決勝では新人戦、関東大会予選、7人制大会といずれも惜敗している清真学園に挑みましたが、気持ちが入りすぎたせいかキック処理やハンドリングなど、細かいところでミスが重なり、悲願のベスト4進出は果たせませんでした。



○ 令和元年度 学年幹事会 開催報告

令和元年度の学年幹事会を7月20日(土)に開催し、役員・学年幹事25人のほか来賓として鈴木監督が、またゲストとして、当日の昼間、高校・中学の部員に実技指導をしてくれたOB吉野俊郎さん(元日本代表、サントリー)が出席しました。(委任状提出者40人)

【議事について】

1. 「平成30年度事業報告及び決算」「令和元年度事業計画及び予算」については、原案どおり承認
2. 「役員の一部改選」については、平成5年度(第46回)卒の助川覚、平成6年度(第47回)卒の原正紀、平成8年度(第49回)卒の樋本吉和の3氏を新たに「幹事」として選任し、OB会への活力注入と活性化を図ることとしました。

また、議事終了後益子副会長から「今年秋に開催されるラグビーワールドカップの試合を部員に観戦させてはどうか、一生に一度の機会であり、たとえJAPANの試合でなくても部員たちには絶対にプラスになるはず」との提案があり、チケット確保、バスの手配、資金の確保等について、今後早急に検討を進めることとしました。

1. 平成30年度活動報告

1-1 主な支出の状況(実支出額)

(単位:千円)

	予算	決算	比較	内 容	備考
1) 学年幹事会	50	44	-6		
2) OB会報発行	170	167	-3	10月に第21号を発行	
3) 各大会への資金援助	220	240	+20	関東新人大会を含む。	
4) 菅平遠征への資金援助	50	50	0	例年同額	
5) 菅平へのOB派遣補助	60	68	+8	ガソリン代補助・現地差入を含む。	
6) ミニ合宿への資金援助	50	52	+2	日程の都合で激励会に変更	
7) ゴルフコンペの開催	10	14	+4	通知発送等	
8) 蹴初め等の交流親睦行事	90	78	-12	定例以外に臨時役員会等を開催	
9) 慶弔費	40	0	-40	OB関係の葬儀等なし	
10) 事務費	10	31	+21	郵送・コピー代、振込手数料等	
11) 高校生活動費支援	200	42	-158	強化練習実施・差入等	
12) 附属中活動費支援	200	25	-175	新入生ジャージ等	
13) 応援グッズ作成	0	120	+120	横断幕・小旗	
14) その他	50	29	-21	父母会との交流等	
計	1,200	960	-240	下欄外※印参照	

※高校・附属中活動費支援については、これまで学校の年度始めの4~5月に支出していたため、OB会の会計年度(6月から翌年5月まで)上は前年度の支出に含めてきたが、今回は執行時期が遅れ6月に支出したため、平成30年度分が未執行の形になっている。

1-2 主な収入の状況(懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。)

(単位:円)

	年会費(納入者)		広告料(納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
平成30年度予算	760,000	160人	240,000	15件	1,000,000
〃 決算	604,500	136人	246,000	12件	(85%) 850,500

2. 平成30年度 事業計画及び予算

2-1 事業構想

創部80周年(令和8年、2026年)に向けて計画的に現役強化を進め、最終的には全国大会出場を目標とする。

I 短期 全国選抜大会への出場(関東新人大会6位以内入賞または協会推薦)

II 長期 全国大会(花園)出場

目標を明確に設定し、第1歩を着実に踏み出す!!

2-2 事業計画

(1) 現役部員の活動支援

引続き、週末や菅平合宿等における指導及び活動費・備品購入費等の補助を行う。

練習や指導内容の更なる充実・向上等に向けた支援策を検討するほか、著名OBによる講話や指導の機会を設ける。

(2) 部員拡大の支援

県内のラグビースクール及び県北地区の中学生等を勧誘し、日立一高及び附属中への進学及びラグビー部への入部を促進する。

(3) 年会費等の納付拡大

現役の活動支援及び部員拡大等を図る上で、不可欠となる資金を確保するため、基本となる年会費の納付拡大として、納付者の負担感を軽減する「paypay」等のQR・バーコード決済サービスや、カード決済、口座引落などを幅広く検討する。

(4) 附属中ラグビー部の育成

貴重な部員の供給源として、また附属中生徒の心身の健やかな成長に資するため、引き続き物心両面からの支援により育成に努める。

(5) OBチームの活動拡大

OB間の親睦を深めるとともに、公式戦を中心とした試合応援への積極的な参加について、SNSの活用等により呼び掛ける。

併せて、茗溪・清真・常総とのOB交流戦など、機会を捉えてOBチームとしての活動を拡大する。

2-3 支出の部

(単位：千円)

	H30決算	R元予算	内 容
1) 学年幹事会	44	50	7月20日開催
2) OB会報発行	167	170	10月に第22号を発行予定
3) 各大会への資金援助	240	240	関東大会を含む
4) 菅平遠征への資金援助	50	50	
5) 菅平への指導員派遣	68	60	ガソリン代補助・現地差入含む
6) ミニ合宿への資金援助	52	50	日程次第では激励会等に変更
7) ゴルフコンペの開催	14	10	開催通知等
8) 蹴初め等の交流・親睦行事	78	80	OB戦、ゴルフコンペ、新年会等
9) 慶弔費	0	20	OB・関係者葬儀香典等
10) 事務費	31	30	郵送・コピー代・振込手数料等
11) 高校生活動費支援	42	200	活動費補助・ジャージ購入等
12) 附属中活動費支援	25	150	〃
13) 応援グッズ作成	120	0	
14) 予備費	29	50	
計	960	1,160	前年比 +200千円

2-4 収入の部 (懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。)

(単位：円)

	年会費 (納入者)		広告料 (納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
平成30年度予算	760,000	160人	240,000	15件	1,000,000
〃 決算	604,500	136人	246,000	12件	850,500
令和元年度 予算	700,000	150人	260,000	14件	960,000 (前年比 113%)

○ 令和元年度 菅平遠征合宿

令和元年8月2日(金)～6日(火)今年も日立一高ラグビー部は、長野県上田市の菅平高原で遠征合宿を実施。OB会からは、尾又顧問、黒沢会長、益子副会長、吉野俊郎さん、根本附属中監督、木下の計6人が参加しました。また、4日(日)を中心に、父母会の皆さんも大勢駆けつけ、部員に声援を送っていただきました。

今年も菅平は猛暑となり、朝晩や日陰は涼しいものの、日中は30℃を超える暑さの中、昨年度と同様、磯原郷英高校(3年生8人)との合同合宿を行い、一緒に練習したり、AD(アタック&ディフェンス)だけでなく練習試合をしたり、1年生の合同チームを作って相手の1年生チームと戦ったり、怪我人が出たときは補充し合い、と協力し合いながら共に切磋琢磨しました。

3年生は受験に備えて5人中2人(3日～4日：角田、4日～6日：鈴木大地)のみの参加となりましたが、ほぼ1・2年生だけで経験値の少ない分を旺盛なファイトで補い、他県の強豪チームと多くの試合を戦って、貴重な実践経験を積みました。

【試合結果】※8月3日(土)と5日(月)の午前は練習のみ、試合は1ラウンド20～25分で行いました。

8月2日(金) vs. 草加高校(埼玉) ×7-19、vs. 磯原郷英高 △17-17

日立・磯原(1年生) vs. 草加(1年生) ×7-29

8月3日(土) vs. 各務原高(岐阜) ○21-7(前半14-0、後半7-7)、vs. 磯原郷英高×0-19

8月4日(日) vs. 千葉合同(柏中央・市立松戸・小金)×10-17(前半0-10、後半10-7)

vs. 千葉経大附属高 ×0-21、vs. 磯原郷英高 ×5-7

8月5日(月) vs. 千葉南高(千葉) ×7-12

日立・磯原(1年) vs. 千葉南(1年生) ○14-0

vs. 磯原郷英高 ×0-14

8月6日(月) vs. 稲生高校(三重) ×0-29

vs. 磯原郷英高 ×0-14

日立・磯原(1年生) vs. 稲生 ×0-14



○ 第15回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

日立一高ラグビー部OB会の第15回ゴルフコンペを下記のとおり開催しますので、奮って御参加ください。

1. 日 時 12月7日(土) 午前8時集合
8時42分スタート
2. 場 所 茨城パシフィックカントリー倶楽部
北茨城市関南町神岡上小沢1113
TEL: 0293-46-4111
3. 費 用 11,000円(プレイ費9,000円、
パーティ費・賞品代2,000円)



※パーティ会場は村山氏宅。村山氏自らが手打ちした蕎麦や、多数の美味しい手料理を囲んだ楽しいパーティを予定しています。併せて、ぜひ御参加ください。

【ゴルフコンペ幹事：笠井知洋 Tel: 080-5057-3065】

○ OB通信

このコーナーでは、OBの方々に昔の思い出話や近況等のご紹介をいただいています。今回は、松崎暢之さん・原正紀さんのお二人にお願いしました。お二人とも、お忙しい中をありがとうございました。

「プライド」 松崎 暢之 昭和63年度・第41回卒

昭和61年、日立一高に入学したその日にラグビー部に入部した。3年生はキャプテン菊池さんを筆頭に晃太郎さん・川田さん等々デカイ先輩ばかりで、恐怖で圧倒された事を昨日のこのように憶えている(笑)

キャプテン根本さん(現日立一中学顧問)の代になり、私も試合に出る回数が増えてきた。私が1年生の3月新人戦決勝対茗溪戦は鮮明に憶えている。昨年秋の全国大会県予選で、死闘の結果3年生を破った茗溪との決勝戦。

前日の練習後滑川先生からジャージを渡される時に、相葉(対面)を「〇△せ」と言われ、燃えた事は良い思い出である。だが試合当日は、先輩に混じって決勝戦という緊張からか、全く体が動かない。スクラムはガンガン押される。

ハーフタイムに「クロ！押されすぎだ！」という先生からの喝で目が覚めた。

後半からは押されることもなくなった。経験でも体力でもなく「気持ち」で負けていたことに気づいた。

試合は28対9で敗れたが、その後の自信にはつながった。「気持ちで負けない」という信念もできた。しかし我々の代がチームを形成していく中で、私の足は上がらなくなった。椎間板ヘルニアによって痺れが止まらない。

入院し退院する頃にはラグビー部を退部する気持ちになっていた。

滑川先生に退部届けを提出する為に体育教官室を訪れる。涙が止まらない。仲間と離れたくない。

「部に残って1年生の面倒見てくれ」滑川先生の言葉だった。私は、仲間と最後までラグビー部員として高校時代を過ごした。

2浪後、関東学院大学の2部(夜間)に滑り込む。その後、夜間で真剣に学ぶ同級生の姿を見て1部へ転部。

大学には山形さん(1つ上)や西原口(同期)、本田(2つ下)など仲間が大勢いた。そこでまたラグビーを楽しむ事ができた。

卒業して社会に出て理不尽なこともたくさんあったが、滑川先生の理不尽さと比べたら屁でもなかった(笑)

入社した会社ではトップセールスとなった。38歳で20万人グループ社員の中で最年少執行役員になった。自己啓発で中小企業診断士の試験にも合格した。

今までの経験を活かして7年前に東京都内でコンサルティング会社を立ち上げた。

社名は「オンサイド」と名付けた。今では、大企業の研修や事業立上支援を行なっている。

全ての原動力は、日立一ラグビー部で先輩から受け継いだ伝統、「プライド」であると思う。

高校時代に、途中ラグビーを終えて受験勉強に専念していれば、違う人生だったかもしれない。しかし、受験が終わっても一生勉強する事は必要である。そこで諦めずにやり続ける気持ちは、この場で学んだと思う。

辞めなかったおかげで、偉大な先輩と最高の仲間と可愛い後輩と時々顔を合わせる事が出来ている。

もうすぐ50歳。

今までを振り返ると良い人生であった。これからも、仲間に関われて良い人生であると確信している。

高校生の皆さん、28年ぶりの決勝進出おめでとう。人生における宝物となる時間を、大いに楽しんでほしい。



【同期の仲間と職初めて 左から二人目が松崎さん】

「悔恨」 原正紀 平成6年度・第47回卒

今回はこのような機会をいただき、ありがとうございます。せっかくなので、少し真面目に書きます。

高校時代の私は身長:174cm、体重90kg、タイトヘッドとしては小柄でしたが、フィールドプレーに長けたFWでした(色々ご意見あるでしょうが、ここでは言い切ります)。

春の関東大会に出場後、人並に進路に悩みましたが、大学体育会でのプレー継続を希望。夏休みに、現在は藤田・岡野が活躍中の中央大学のセレクションを受験しました。

日立一高関係者は誰も観ていないので、かなり信憑性に欠けますが、セレクションマッチでの活躍は出色で、集まった選手間では合格間違い無しと言われた記憶があります。当時は非公式に50mを6.0秒で走った事があると言え張るくらい、スピードには自信があり、セレクションでも短距離の測定ではFWトップ、全体でもかなり上位だったと記憶しています。

余談ですが、そのセレクションに参加して、その年の花園に出場した北見北斗(懐かしい!)のFB三澤くんは「尊敬する選手:原(日立一)」と選手名鑑に記載してくれました。

が、しかし!!結果は不合格。同じポジションには盛岡工業、東京高校、秋田工業の100kgオーバーの選手がいて、彼等が合格しました。



【ドラマ「ノーサイドゲーム」のエキストラで】

その後、結局、一般受験ではどこにも引っかからず、一浪、軽量FW・浪人生選手の活躍を夢見て早稲田大学への進学を希望、東京・高田馬場の「早稲田予備校」に入学。偏差値は35位上がりましたが、なぜかWがひっくり返りMになり、明治大学に(しか受からず)入学。大学同期には「ノーサイドゲーム」で活躍の斎藤裕也がいました。

そして何だか、自信がなくて、「他にやりたいこと(不純異性交遊等)がある」「身体が小さいからメイジじゃ通用しない」なんて言って、八幡山には一度も近付きませんでした。(明大ラグビー部OBの皆様、ごめんなさい。正確には近付かせてもらえなかったです(笑))

それでも、シーズンにはラグビーがしたくて、学生クラブチームや、就職後は地元のPOPEYEクラブでプレーを続けて、今に至ります。今はツクバリアンズJrの低学年コーチをしています。

長々書きましたが、ここからは、是非現役に読んで欲しい。高校時代、真剣にラグビーに取り組まなかった事。大学時代、逃げて体育会で勝負しなかった事。後悔しかない。痛恨の極みだ。

戻れるなら、高校・大学時代に戻って、通用しないと分かるまで、ラグビーで勝負がしたい。だから、迷っているなら、少しでもできると思うなら、より上のカテゴリーでやって欲しい。

一部の教育者の方や、父母の方には怒られるかもしれないが、ラグビーで勝負できるのは今しかないから。勉強はいつでもできる。必死で、叶わない花園を目指せるのは高校3年間しかない。

お叱りを承知で書きます。自分達より、強くて、早くて、デカイ高校生が必死で泥まみれで練習している時に、冷房の効いた予備校で勉強していて、秋に勝てるか!? そんなうまい話あるか!? 高校時代、これしかやってなかったって事があるのは、めちゃくちゃ素敵な事だぞ。

現役諸君、後悔しないように一生懸命ラグビーしないと、25年も経って、応援旗作ったり、しつこくラグマガに取材を申込んで特集掲載させたり、メーカーとタイアップしてジャージ作ったり、一銭にもならないようなことを、夢中でやらなければならないようになるぞ。これは、忠告だ!!

○ 父母の会だより

父母の会会長 角田由紀子さん(角田祐弥くん(3年)の母)

父母の会会長を務めさせて頂いております角田です。

日頃より、先生方をはじめ日立一高ラグビー部OBの皆様方には、多大なご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

OBの皆様もご存知のように、現在の3年生がラグビー部を率いるようになったときは15人ぎりぎりの人数でした。控え選手のいない状態でしたが、最初の公式戦である茨城県新人大会では決勝に進み、その後の関東新人大会への初出場も果たすことができました。

OB会から手旗や横断幕を新調していただいただけでなく、たくさんのOBの方々が会場まで応援にきてくださったことに、部員も我々保護者もとても勇気づけられました。

また、23年ぶりに出場を果たした6月の関東大会ではウォームアップ用のシャツを作っていただいた上に、現地での差し入れ費用も補助していただきました。相模原まで応援に駆けつけてくれたOBの方もたくさんいらっしゃいました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

現在、部員たちは全国大会予選に向けて日々練習に励んでいます。夏の合宿を経て2年生はもちろん、4月に入部した1年生もめきめきと力をつけているようです。

3年生におきましては、ラグビーでの大学進学を希望する部員は団体の選手に選ばれ頑張っております。その他の受験を控えている部員は昨年の3年生をお手本にし、受験勉強に励みながら週1回部活に参加して、試合で先輩の足を引っ張らないように準備をしているところです。

父母の会としましては、部員が大切な試合で持っている力を最大限に出せるようにあらゆる面でサポートしていきたいと思っております。

最後になりましたが、OB会の皆様には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



【3年生のお母さんたちと 右から2番目が角田さん】

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

令和元年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。(※今大会は「第2シード」です。)
詳しくは、OB会ホームページ、又はフェイスブックをご覧ください。

第1戦(準々決勝) 10月28日(月) 10:30 堀原運動公園競技場 vs 水農×合同Aと合同Bの勝者

第2戦(準決勝) 11月 3日(日) 12:20 " vs 清真学園(予定)

第3戦(決勝) 11月17日(日) 13:00 ケーズデンキスタジアム水戸 vs 茗溪学園(予定)

今大会は、関東大会県予選までの成績を反映して「第2シード」となりましたので、第1戦がいきなり準々決勝です。

順当にいけば、準決勝が清真学園、決勝が茗溪学園との対決になりそうです。

今シーズンは、新人戦、関東大会予選とも決勝戦に進出しています。

現役の皆さん、ベストを尽くして、そして頂点を目指して頑張ってください!!

OB・父母の皆さんの声援が、部員への大きな励みになります。

どうか、一人でも多くグラウンドにおいていただき、激励してください。

よろしくお願いいたします。(組合せ等の詳細は、OB会ホームページやフェイスブック等をご覧ください。)



○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化をはかるため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(次頁をご参照ください。)

広告料は、年1回発行の会報掲載で1口1万円以上ですが、今年度は13人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計203,000円のご協力をいただくことができました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

OB・父母の皆様には、何かの折にはぜひ広告掲載店・企業にご用命ください。

○ 部員プロフィールについて (ポジションは大会ごとに異なりますので、2・3年生で1セットにしました。)

毎号、部員全員のプロフィールと抱負を掲載してきましたが、今回は事務局の不慎により掲載できませんでした。心からお詫び申し上げますとともに、以下に学年、氏名、ポジションと出身中学校のみ御紹介いたします。

【3年】主将：角田祐弥 (CTB：附属中)、副将：津下晃彦 (FL：助川中)、渋谷直希 (PR：附属中)、鈴木健太 (No.8：附属中)、鈴木大地 (PR：附属中) 【2年】半澤宗汰 (SO：附属中)、広津壮太郎 (SH：附属中)、加藤秀都 (WTB：附属中)、手柴蓮 (FL：附属中)、金子岬生 (HO：附属中)、福田周平 (LO：附属中)、志賀佑輝 (CTB：台原中)、内海和也 (FB：台原中)、楯身龍之佑 (LO：附属中)、宮本駿治 (WTB：東海中)

【1年】根本翼 (附属中)、渡辺健斗 (附属中)、二重作英慈 (泉丘中)、藤本謙 (泉丘中)、鈴木広大 (田彦中)、鴨志田蓮 (世矢中)、江沼晋之介 (泉丘中)、戸張純矢 (十王中) 【マネージャー】酒出真優 (3年：附属中)、西夏鈴 (2年：多賀中)、新島織穂 (1年：里見中)、亀尾理江 (1年：東海中)

日立一高ラグビー部OB会報 第22号 (令和元年10月10日発行)

発行責任者：幹事長 木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒)

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話：0293-22-3157

尾又運送株式会社

代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話：0294-36-2856

有限会社 川西砕石

代表取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話：0294-33-0359

秋光電気工事株式会社

代表取締役 秋山 啓市

(昭和49年度 第27回卒)

〒316-0003 日立市多賀町1丁目20番22号

電話：0294-36-1987

株式会社トップベイスサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号

電話：047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話：0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話：0293-46-0172



株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話：0294-36-1681

株式会社オンサイド

代表 中小企業診断士 松崎 暢之

(昭和63年度 第41回卒)

〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001号

電話：03-6277-5309

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話：0294-22-0807

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話：0293-46-5110

有限会社 ナニワ運動具店

橋 恒弘

(昭和62年度 第40回卒)

〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号

電話：0294-22-0017

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表社員弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOHビル2階

電話：0296-48-8875

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 角田 彰彦

(ほか 保護者一同)

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 黒沢 祐士 ほか

(昭和50年度 第28回卒)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！

(事業所名はアイワイエ順)